

2012年12月31日締め2012年第4四半期および通年の業績を発表

(このプレスリリースは、2013年1月29日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社:マサチューセッツ州ネイティック、NY証券取引所略号:BSX)は本日(2013年1月29日)、2012年12月31日締めの第4四半期と通年の業績、ならびに2013年の第1四半期と通年の売上高と1株当たり利益(EPS)の予測を発表しました。

2012年第4四半期業績および直近の主要項目:

- 売上高は18億2,100万ドルを計上し、為替変動の影響と売却事業による売上を除くとリポーターベースで前年比1パーセントの減少となった。GAAPベースのEPSは0.04ドル、修正後EPSは0.18ドルだった。営業キャッシュフローは3億7,000万ドルと堅調に推移。
- 14%の増収を達成。米国ではニューロモジュレーションでシェア第2位の地位を確固たるものとした。エンドスコーピーでは10%、ペリフェラル・インターベンションでは9%のシェアを獲得した(すべて為替変動の影響を除く)。
- ブラジル、ロシア、インド、中国を合わせた収益は、為替変動の影響を除いて、第4四半期で35%増となった。
- S-ICDシステムを米国で発売し、CRM事業強化を継続。心臓の電気生理学的検査に用いられるマッピングおよびナビゲーションシステムの次世代ソリューションを開発するリズミア・メディカル社の買収を完了した。
- DESの収益は、為替変動の影響を除くと国際で6%の増加。米国では、前年比で売上は減少したものの、シェアを維持した。
- 管理不能高血圧の治療に用いられる、次世代のカテーテルベースの腎除神経システムの開発を手掛けるベシックス・バスキュラー社の買収を完了した。
- 2011年に承認された自社株買い戻しプログラムに基づき、約1,800万株の買い戻しを実施した。これとは別に、自社株を10億ドルまで買い戻す新規のプログラムの承認を発表。
- 2011年組織再編プログラムの拡大を承認した。これにより、年間の税引き前営業経費の総額を2013年末までにさらに1億ドルから1億1,500万ドル削減できると見込んでいる。

「第4四半期の業績が改善したことは喜ばしいことですが、まだ十分ではありません」とボストン・サイエンティフィック社の社長兼CEOであるマイク・マホーニーは述べています。また「実行力を高めて顧客重視を鮮明にするために、製品ラインの一層の強化と新興市場での拡販、そして業務改革を実施してきました。私たちは当社を長期的な成長への軌道に導くために必要なステップを着実に踏みつつあると確信しています」とも述べています。

2012年第4四半期

2012年第4四半期の売上高は18億2,100万ドルで、2011年第4四半期の18億4,800万ドルに比べて1%の減少となりました。為替変動の影響と売却した事業による売上高を除いても前年同期比1%の減少でした。

全世界での為替変動の影響を除いた第4四半期の売上高は次の通り(リポータードベース)：

<i>in millions</i>	Three Months Ended December 31,		Change	
	2012	2011	As Reported Currency Basis	Constant Currency Basis
Interventional Cardiology	\$ 534	\$ 594	(10)%	(9)%
Cardiac Rhythm Management	457	482	(5)%	(4)%
Endoscopy	329	304	8%	10%
Peripheral Interventions	199	184	8%	9%
Urology/Women's Health	130	127	2%	3%
Neuromodulation	104	91	14%	14%
Electrophysiology	38	36	4%	5%
Subtotal Core Business	1,791	1,818	(1)%	(1)%
Divested Businesses	30	30	N/A	N/A
Worldwide	\$ 1,821	\$ 1,848	(1)%	-%

成長率は四捨五入しない実数値です。

GAAPベースの2012年第4四半期の純利益は6,000万ドル(1株当たり0.04ドル)でした。この業績は、売却関連の正味費用、買収、事業再編・訴訟関連の費用および償却費用の1億9,200万ドル(税引き後、1株当たり0.14ドル)を含みます。これらの費用を含めない2012年第4四半期の修正後純利益は2億5,200万ドル(1株当たり0.18ドル)でした。

GAAPベースでの2011年第4四半期の純利益は1億700万ドル(1株当たり0.07ドル)でした。この業績は、買収・売却関連の正味費用、訴訟・組織再編関連の費用、税制上の優遇措置および償却費用の9,000万ドル(税引き後、1株当たり0.06ドル)を含みます。これらの費用を含めない2011年第4四半期の修正後純利益は1億9,700万ドル(1株当たり0.13ドル)でした。

2012年通年

2012年通年の売上高は72億4,900万ドルで、2011年通年の売上高76億2,200万ドルに比べて5%減少となりました。為替変動の影響と売却した事業による売上高を除くと、前年同期比で3%の減少でした。

全世界での為替変動の影響を除いた通年の売上高は以下の通り(リポーテッドベース)。

<i>in millions</i>	Year Ended December 31,		Change	
	2012	2011	As Reported Currency Basis	Constant Currency Basis
Interventional Cardiology	\$ 2,179	\$ 2,495	(13)%	(11)%
Cardiac Rhythm Management	1,908	2,087	(9)%	(7)%
Endoscopy	1,252	1,187	5%	7%
Peripheral Interventions	774	731	6%	8%
Urology/Women's Health	500	498	-%	1%
Neuromodulation	367	336	9%	9%
Electrophysiology	147	147	-%	1%
Subtotal Core Businesses	7,127	7,481	(5)%	(3)%
Divested Businesses	122	141	N/A	N/A
Worldwide	\$ 7,249	\$ 7,622	(5)%	(3)%

成長率は四捨五入しない実数値です。

GAAP ベースで 2012 年通年の純損失は 40 億 6,800 万ドル(1 株当たり 2.89 ドル)でした。この業績は、営業権などの無形資産の減損費用、買収・事業売却関連の正味費用、組織再編・訴訟関連の費用、税制上の優遇措置および償却費用(税引き後)の 50 億 100 万ドル(1 株当たり 3.55 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2012 年通年の修正後純利益は 9 億 3,300 万ドル(1 株当たり 0.66 ドル)でした。

GAAP ベースの 2011 年通年の純利益は 4 億 4,100 万ドル(1 株当たり 0.29 ドル)でした。この業績は、営業費などの無形資産の減損費用、買収・事業売却関連の正味費用、訴訟・組織再編関連の費用、税制上の優遇措置および償却費用(税引き後)の 5 億 7,700 万ドル(1 株当たり 0.38 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2011 年通年の修正後純利益は 10 億 1,800 万ドル(1 株当たり 0.67 ドル)でした。

2011 年組織再編プログラムの拡大

ボストン・サイエンティフィック社は、業務の効果と効率を高め、また新たな成長のための投資を支えるため、2011 年組織再編プログラムを基盤とした、同プログラムの拡大(「エクспанション」)を発表しました。これにより株主価値の向上が見込まれます。エクспанションにより 2013 年末までに年間の税引き前営業経費の総額がおおよそ 1 億ドルから 1 億 1,500 万ドル削減され、エクспанションも含めた 2011 年組織再編プログラム全体(「トータルプログラム」)では、2013 年末までに年間の税引き前営業経費の総額がおおよそ 3 億 4,000 万ドルから 3 億 7,500 万ドル削減されるとみえています。トータルプログラムの削減分のかなりの部分は、戦略的成長イ

ニシアチブや新興市場など、将来の成長が期待される重点分野に再投資される予定です。トータルプログラムに基づく活動は、2013年末までに完了する予定です。

エクспанションの結果、社員の自然減と計画的な人員削減により、世界全体で900から1,000のポジションが削減されると見込まれています。関係する地域や事業のそれぞれについて、社員への具体的な影響を示した計画が作成される予定です。現地法で定められている場合には、会社は社員の代表者団体と話し合うことにしています。

ボストン・サイエンティフィック社は、エクспанションを実施することで税引き前費用が合計でおよそ1億4,000万ドルから1億6,000万ドルとなり、そのうちおよそ1億ドルから1億2,000万ドルが将来における現金支出になるとみています。トータルプログラムを実施することで税引き前費用が合計でおよそ3億ドルから3億5,500万ドルとなり、そのうちおよそ2億7,000万ドルから3億ドルが将来における現金支出になるとみています。

2013年第1四半期および通年の予測

ボストン・サイエンティフィック社は、2013年第1四半期の売上高を17億4,000万ドルから18億1,500万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAPベースの1株当たりの利益は0.04ドルから0.07ドルの間になる見込みです。買収・組織再編関連の費用および償却費用を含めない修正後利益は、1株当たり0.14ドルから0.17ドルの範囲内と予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2013年通年の売上高を70億5,000万ドルから73億5,000万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAPベースの1株当たりの利益は0.29ドルから0.37ドルの間になる見込みです。事業売却関連の正味費用、買収・組織再編関連の費用および償却費用を含めない修正後利益は、1株当たり0.64ドルから0.70ドルの範囲内と予想しています。

電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(1/29)午前 8 時 00 分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子をウェブサイトの IR のセクション www.bostonscientific.com で配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議の様子は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約 1 年間配信する予定です。

将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第 27A 条および証券取引法(1934年制定)第 21E 条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、純売上高、2013年度第 1 四半期および通年の修正後利益・GAAP ベースの業績・修正業績についての予測、財務成績、製品市場と市場シェア、事業計画、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブ、組織再編プログラム活動とその影響、私たちの収益成長率の位置づけなどに関する記述なども含まれます。基本的な前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意してください。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、金融市況、組織再編プログラムの実施とその効果、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新たなリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の 10-K 年次報告書パート I 1A 項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の 10-Q 四半期報告書パート II 1A 項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィック社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するように将来予測に関する記述の内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP(一般会計原則)の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに付属の別紙をご覧ください。

連絡先:

デニス・カイグラー
508-650-8330(社内)
media@bsci.com
メディア向け情報担当

スティーブン・カンパニーニ
508-652-5740(社内)
media@bsci.com
メディア向け情報担当

マイケル・キャンベル
508-650-8023(社内)
investor_relations@bsci.com
投資家向け情報担当

<ボストン・サイエンティフィック社について>

ボストン・サイエンティフィック社(米国マサチューセッツ州)は、最先端メディカルデバイス(医療機器)の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。インターベンション(身体をメスで大きく切らない治療)の分野では世界最大手。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレート・コミュニケーションズ)

TEL : 03-3343-9411, FAX : 03-3343-0264

E-mail でのお問合せはこちらへ (pressroom@bsjkk.co.jp)

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社